

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2020年6月23日
【四半期会計期間】	第74期第2四半期（自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）
【会社名】	ナトコ株式会社
【英訳名】	NATOCO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 粕谷 健次
【本店の所在の場所】	愛知県みよし市打越町生賀山18番地
【電話番号】	(0561)32-2285(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 山本 豊
【最寄りの連絡場所】	愛知県みよし市打越町生賀山18番地
【電話番号】	(0561)32-2285(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 山本 豊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第2四半期 連結累計期間	第74期 第2四半期 連結累計期間	第73期
会計期間	自 2018年11月1日 至 2019年4月30日	自 2019年11月1日 至 2020年4月30日	自 2018年11月1日 至 2019年10月31日
売上高 (千円)	8,814,362	8,091,351	17,701,409
経常利益 (千円)	793,350	614,902	1,519,726
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	502,229	407,046	978,487
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	549,301	252,136	933,399
純資産額 (千円)	18,120,898	18,455,393	18,369,214
総資産額 (千円)	23,204,780	23,570,685	23,912,808
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	66.58	53.96	129.71
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	78.1	78.3	76.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	874,804	880,080	1,875,647
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	652,163	217,368	1,528,131
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	152,177	169,617	289,348
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	6,992,143	7,445,610	6,970,209

回次	第73期 第2四半期 連結会計期間	第74期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年2月1日 至2019年4月30日	自2020年2月1日 至2020年4月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	26.45	27.04

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、以下の追加すべき事項が生じております。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴うリスク)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界的な規模で感染者が増加し、社会経済活動に大きな影響を及ぼしております。当該感染症の影響により、当社グループにおいても、顧客であるメーカーの生産停止、あるいは、縮小に伴う製品供給減、原料メーカーからの原材料調達難による生産停止、当社グループ社員に感染者が発生した場合における工場の操業停止などの事象等により、円滑な事業推進を行うことが困難になった場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に重大な影響を及ぼす可能性があります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間(2019年11月1日～2020年4月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界全体に広がり、世界各国で渡航禁止や外出規制などが実施され、経済活動は停止し、大幅な減速となりました。また、わが国経済も世界経済と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が急速に悪化し、厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する各国政府や各自治体の要請を遵守しつつ、独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発を行うとともに、販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりましたが、期間の後半からは市況悪化の影響が大きくなり、売上・利益ともに低調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,091百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益616百万円(前年同期比17.6%減)、経常利益614百万円(前年同期比22.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益407百万円(前年同期比19.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 塗料事業

金属用塗料分野では、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、全般的に塗料出荷量は低調となりました。また、建材用塗料分野でも、新設住宅着工戸数の減少に伴い需要が落ち込み、売上高、セグメント利益は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、塗料事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は4,935百万円(前年同期比9.4%減)、セグメント利益は545百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

#### ファインケミカル事業

光学フィルム向けコーティング材は堅調に推移したものの、スマホアクセサリー向けのコーティング材の受注が減少したことで、売上高、セグメント利益は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,176百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント利益は240百万円(前年同期比29.3%減)となりました。

#### シンナー事業

有限会社アイシー産業において台風19号の浸水被害により1ヶ月半生産停止となったことや、既存ユーザーの生産活動の停滞により販売量が減少したため、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。セグメント利益につきましては、原油価格下落による原材料価格の値下りや山口工場の減価償却費負担の軽減により前年同期に比べ増加しました。

その結果、シンナー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,979百万円(前年同期比8.4%減)、セグメント利益は135百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は23,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ342百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が372百万円、前渡金が125百万円、有形固定資産が69百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が812百万円、投資有価証券が128百万円減少したことによるものであります。

負債は5,115百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が81百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が315百万円、未払法人税等が149百万円減少したことによるものであります。

純資産は18,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を407百万円計上した一方で、配当金の支払165百万円があったことと、その他有価証券評価差額金が95百万円、為替換算調整勘定が60百万円減少したことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ475百万円増加し、7,445百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は880百万円（前年同期は874百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益601百万円、減価償却費291百万円、売上債権の減少780百万円による資金の増加と、仕入債務の減少306百万円、法人税等の支払322百万円による資金の減少によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は217百万円（前年同期は652百万円の支出）となりました。これは主に資金運用における定期預金の払戻、有価証券の償還及び信託受益権の償還による収入5,016百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出295百万円、定期預金の預入、有価証券の取得及び信託受益権の取得による支出4,934百万円による資金の減少によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は169百万円（前年同期は152百万円の支出）となりました。これは配当金の支払169百万円による資金の減少によるものであります。

## (3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は410百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,299,000
計	26,299,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年4月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年6月23日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,144,400	8,144,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	8,144,400	8,144,400	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年2月1日 ~ 2020年4月30日	-	8,144,400	-	1,626,340	-	3,316,538

(5) 【大株主の状況】

2020年4月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
粕谷 忠晴	名古屋市天白区	1,197	15.87
ナトコ共栄会	愛知県みよし市打越町生賀山18番地	964	12.79
粕谷 太一	名古屋市天白区	490	6.50
有限会社巴ホールディングス	名古屋市天白区表山3丁目2426番地	490	6.50
粕谷 英史	名古屋市天白区	245	3.25
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	240	3.18
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	230	3.04
株式会社中京銀行	名古屋市中区栄3丁目33番13号	210	2.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	193	2.56
粕谷 健次	名古屋市瑞穂区	162	2.15
計	-	4,425	58.66

(注) 所有株式数は、千株未満を切捨てて記載しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 600,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,542,200	75,422	-
単元未満株式	普通株式 1,300	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,144,400	-	-
総株主の議決権	-	75,422	-

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。  
 また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。  
 2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が23株含まれております。

【自己株式等】

2020年4月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ナトコ株式会社	愛知県みよし市打越町 生賀山18番地	600,900	-	600,900	7.38
計	-	600,900	-	600,900	7.38

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年2月1日から2020年4月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年11月1日から2020年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,525,609	7,898,011
受取手形及び売掛金	5,464,403	4,651,630
電子記録債権	310,634	337,337
有価証券	1,200,000	1,200,000
商品及び製品	1,032,988	1,013,175
仕掛品	34,160	16,209
原材料及び貯蔵品	624,171	649,840
前渡金	221,513	346,684
その他	878,928	879,710
貸倒引当金	5,539	4,816
<b>流動資産合計</b>	<b>17,286,870</b>	<b>16,987,781</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,663,589	2,594,185
機械装置及び運搬具(純額)	1,082,801	1,068,418
土地	1,737,249	1,743,380
その他(純額)	295,729	443,258
<b>有形固定資産合計</b>	<b>5,779,369</b>	<b>5,849,242</b>
<b>無形固定資産</b>		
無形固定資産	164,280	162,151
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	448,672	319,750
繰延税金資産	68,071	82,412
その他	169,018	174,283
貸倒引当金	3,475	4,937
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>682,287</b>	<b>571,509</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>6,625,938</b>	<b>6,582,903</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,912,808</b>	<b>23,570,685</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,074,299	2,759,153
電子記録債務	15,478	24,249
未払法人税等	323,722	174,646
賞与引当金	257,202	220,914
役員賞与引当金	36,300	16,950
その他	1,137,305	1,218,578
<b>流動負債合計</b>	<b>4,844,307</b>	<b>4,414,493</b>
<b>固定負債</b>		
繰延税金負債	9,617	6,755
役員退職慰労引当金	323,455	332,351
退職給付に係る負債	149,727	142,293
その他	216,487	219,397
<b>固定負債合計</b>	<b>699,286</b>	<b>700,798</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,543,594</b>	<b>5,115,291</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	13,368,783	13,609,873
自己株式	516,255	516,255
株主資本合計	17,795,406	18,036,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	179,038	83,330
為替換算調整勘定	405,728	345,397
退職給付に係る調整累計額	10,959	9,830
その他の包括利益累計額合計	573,807	418,897
非支配株主持分	-	-
純資産合計	18,369,214	18,455,393
負債純資産合計	23,912,808	23,570,685

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
売上高	8,814,362	8,091,351
売上原価	6,618,935	6,086,209
売上総利益	2,195,427	2,005,141
販売費及び一般管理費	1,447,593	1,388,663
営業利益	747,833	616,478
営業外収益		
受取利息	1,968	2,655
受取配当金	6,064	6,456
貸倒引当金戻入額	62	-
為替差益	23,491	-
物品売却益	11,189	7,000
その他	9,180	15,424
営業外収益合計	51,957	31,537
営業外費用		
支払利息	7	1
売上割引	5,997	5,518
為替差損	-	27,525
その他	434	68
営業外費用合計	6,440	33,113
経常利益	793,350	614,902
特別利益		
固定資産売却益	68	172
補助金収入	-	5,847
受取保険金	-	6,807
特別利益合計	68	12,827
特別損失		
固定資産処分損	9,021	5,222
固定資産圧縮損	-	10,008
災害による損失	-	10,890
特別損失合計	9,021	26,121
税金等調整前四半期純利益	784,397	601,608
法人税、住民税及び事業税	273,154	177,773
法人税等調整額	9,014	16,788
法人税等合計	282,168	194,561
四半期純利益	502,229	407,046
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	502,229	407,046

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	502,229	407,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,765	95,707
為替換算調整勘定	29,538	60,331
退職給付に係る調整額	1,767	1,128
その他の包括利益合計	47,072	154,910
四半期包括利益	549,301	252,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	549,301	252,136
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	784,397	601,608
減価償却費	296,037	291,335
固定資産圧縮損	-	10,008
貸倒引当金の増減額(は減少)	505	738
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	2,607	5,813
受取利息及び受取配当金	8,033	9,111
支払利息	7	1
固定資産処分損益(は益)	9,021	5,222
固定資産売却損益(は益)	68	172
災害による損失	-	10,890
為替差損益(は益)	8,358	22,385
売上債権の増減額(は増加)	63,539	780,880
たな卸資産の増減額(は増加)	14,237	2,684
仕入債務の増減額(は減少)	135,443	306,116
補助金収入	-	5,847
受取保険金	-	6,807
災害による損失の支払額	-	8,861
その他	54,519	188,327
小計	1,038,267	1,194,699
利息及び配当金の受取額	8,007	7,896
利息の支払額	7	-
法人税等の還付額	5,920	23
法人税等の支払額	177,383	322,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	874,804	880,080
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	134,800	134,800
定期預金の払戻による収入	128,800	216,800
有価証券の取得による支出	2,600,000	2,800,000
有価証券の償還による収入	2,600,000	2,800,000
信託受益権の取得による支出	1,600,000	2,000,000
信託受益権の償還による収入	1,200,000	2,000,123
有形固定資産の取得による支出	235,345	295,104
有形固定資産の売却による収入	68	1,131
無形固定資産の取得による支出	7,904	13,279
投資有価証券の取得による支出	1,079	1,087
差入保証金の差入による支出	933	842
差入保証金の回収による収入	893	33
補助金の受取額	-	5,847
保険金の受取額	-	6,807
その他	1,862	2,997
投資活動によるキャッシュ・フロー	652,163	217,368
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	150,712	169,617
その他	1,465	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,177	169,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,210	17,693
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	60,252	475,401
現金及び現金同等物の期首残高	6,931,891	6,970,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,992,143	7,445,610

【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更等 )

該当事項はありません。

( 会計上の見積りの変更 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません。

( 四半期連結損益計算書関係 )

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 2018年11月 1 日 至 2019年 4 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 2019年11月 1 日 至 2020年 4 月30日 )
給料及び手当	285,991千円	288,839千円
賞与引当金繰入額	71,173	73,183
役員賞与引当金繰入額	17,900	16,950
退職給付費用	7,923	8,007
役員退職慰労引当金繰入額	10,855	13,013
研究開発費	294,678	263,224

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 2018年11月 1 日 至 2019年 4 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 2019年11月 1 日 至 2020年 4 月30日 )
現金及び預金勘定	7,275,143千円	7,898,011千円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	283,000	452,400
現金及び現金同等物	6,992,143	7,445,610

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年1月29日 定時株主総会	普通株式	150,869	20	2018年10月31日	2019年1月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月4日 取締役会	普通株式	135,782	18	2019年4月30日	2019年7月8日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年1月28日 定時株主総会	普通株式	165,956	22	2019年10月31日	2020年1月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月12日 取締役会	普通株式	135,782	18	2020年4月30日	2020年7月7日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年11月1日 至2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,445,413	1,208,575	2,160,373	8,814,362	-	8,814,362
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,860	6,027	171,246	183,133	183,133	-
計	5,451,273	1,214,603	2,331,619	8,997,496	183,133	8,814,362
セグメント利益	589,245	340,141	116,364	1,045,752	297,919	747,833

(注)1. セグメント利益の調整額 297,919千円は、セグメント間取引消去14,466千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 312,385千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年11月1日 至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,935,568	1,176,672	1,979,110	8,091,351	-	8,091,351
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,197	-	130,418	136,615	136,615	-
計	4,941,765	1,176,672	2,109,528	8,227,967	136,615	8,091,351
セグメント利益	545,960	240,609	135,528	922,098	305,620	616,478

(注)1. セグメント利益の調整額 305,620千円は、セグメント間取引消去12,387千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 318,008千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり四半期純利益金額	66円58銭	53円96銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	502,229	407,046
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円)	502,229	407,046
普通株式の期中平均株式数(株)	7,543,477	7,543,477

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

2020年6月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額 135,782千円
- (ロ) 1株当たりの金額 18円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年7月7日

(注) 2020年4月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年6月23日

ナトコ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岸田 好彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 加藤 浩幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているナトコ株式会社の2019年11月1日から2020年10月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年2月1日から2020年4月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年11月1日から2020年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ナトコ株式会社及び連結子会社の2020年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。